

県社保協ニュース

発行：岡山県社保協 2023年 11月 24日 (23-03号)
岡山市北区下伊福西町1-53 (TEL : 086-255-1140)

県社保協全県キャラバン

国保子ども均等割減免

美作市・早島町が拡充

「現行保険証の維持要請
「考えていない」(市町村談)

岡山県社保協は10月23日から10月30日まで、県下の26市町村を訪問して当局と交渉する「社会保障の充実を求める全県キャラバン」にとりくみました。

今回のキャラバンの主な目的(要請内容)は、①マイナカードの健康保険証利用を中断し、現行の保険証を残すよう国に要請することとを市町村に要請すること、②高すぎる国保料を引き下げ、払える国保料とすること、③第9期介護保険料の引き下げ、④義務教育の給食の無償化、でした。

国への現行の健康保険証の維持要請は考えていない

マイナカードの健康保険証利用を中断し、現行の保険証を残すよう国に要請することについては、全体としてどの市町村も「基本的には、国の方針に沿った事務を行うべきと考えていることから、国への要請は考えていない」との回答でした。

美作市と早島町が子どもの均等割減免を拡充

子どもに係る均等割減免の拡充を、満18歳に達した以後の最初の3月31日までの期間とし、所得制限は設けず実施すること、との要請に対しては、「国の基準を超えて、独自に保険料の減額賦課について条例で定めることはできな

いと考える方を厚労省が示している」との回答が散見されました。この厚労省が示す考え方は誤りであることとを、今後のキャラバン等で示していくことが必要です。

他方、美作市と早島町は減免を、満18歳に達した以後の最初の3月31日までの期間として拡充していることがわかりました。

美作市が一般会計繰入による介護保険料引き下げを実施

第9期介護保険計画策定にあたり、保険料を引き下げることに、との要請に対しては、美作市は、国保以上にハードルが高いといわれている一般会計繰入による引き下げを、第7期計画以降行っていることがわかりました。

給食完全無償化は一部にとどまる

義務教育の給食が無償でない場合は無償化すること、との要請に対しては、備前市や奈義町、吉備中央町、新庄村らが完全無償としている一方で、今年度のみ無償としている自治体も散見されました。今後市町村に無償化を要請することと同時に、無償化を国の制度とすることが必要です。



新庄村との懇談の様子=10月26日、新庄村役場